

日医発第 1697 号(地域)

令和 7 年 1 月 8 日

都道府県医師会

担 当 理 事 殿

公益社団法人日本医師会

常任理事 江 澤 和 彦

(公印省略)

日本看護協会「看護師等の離職時等の届出制度に関する認知度調査」  
(厚生労働省特別対策事業)について

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

今般、日本看護協会より標記調査に関する周知方依頼がありました。

本調査は、令和 6 年度厚生労働省特別事業の一環として行われるもので、「看護職の離職時の届出制度」(看護師等の人材確保の促進に関する法律)に関する認知度等を把握し、今後の潜在看護職の把握方法やより良いサービス提供の検討に関する基礎資料を得ることを目的としています。

調査の案内は、日本看護協会の会員へは「協会ニュース」を通じて行われる予定と聞いています。なお、会員限定の調査ではなく、看護職どなたでも日本看護協会ホームページからご回答いただけます(回答期間：令和 7 年 1 月 15 日～2 月 21 日)。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知賜りますようお願い申し上げます。

日本看護協会ホームページ

<https://www.nurse.or.jp/research202501.html>

日 看 協 発 第 391 号  
令和 6 年 12 月 25 日

日本医師会 御中

公益社団法人 日本看護協会  
会 長 高 橋 弘 枝  
(公印略)

令和 6 年度 厚生労働省特別対策事業

「看護師等の離職時等の届出制度に関する認知度調査」周知へのご協力依頼について

時下 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より本会事業の推進に格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本会では、この度、「看護師等の離職時等の届出制度に関する認知度調査」を実施することとなりましたのでお知らせいたします。

少子化がさらに進み、看護師等の確保がさらに厳しくなることが予測される中で、離職した看護師等を把握し、再就職につなげていくことが喫緊の課題となっています。本調査では、離職時の届出制度に関する認知度等を把握し、今後の潜在看護職の把握方法やより良いサービス提供の検討に関する基礎資料を得ることを目的にしています。現在、就業中の離職経験のない看護師等を含め、すべての看護師等が対象となります。

つきましては、貴団体におかれましては会員施設等にご勤務の看護師等の皆様にご周知いただきたく、ご高配賜りますようお願い申し上げます。

<参考>

- 日本看護協会ホームページ  
「看護師等の離職時等の届出制度に関する認知度調査」  
<https://www.nurse.or.jp/research202501.html>  
「離職時等の届出制度」  
<https://www.nurse.or.jp/nursing/nc/todokede/index.html>
- 周知用チラシ(別紙)  
\* 本チラシは、「看護師等の離職時等の届出制度に関する認知度調査」ページよりダウンロードいただけます。

【担当部署】公益社団法人日本看護協会  
労働政策部中央ナースセンター課  
(担当:藤原、長谷川)

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-8-2

TEL:03-5778-8831 E-mail:ncenter@nurse.or.jp

# 看護師等の離職時等 届出制度に関する認知度調査

2025年1月15日(水)～2月21日(金)

日本看護協会では、厚生労働省「看護師等の離職時等届出制度の認知度、利用状況の実態把握事業」を受託し、看護師等の離職時等の届出制度に関する認知度調査を実施します。離職時等の届出制度について、看護職の認知や利用状況を把握し、より良い制度やサービスを検討していくための重要な調査となります。就業中・離職中を問わずご回答いただけます。皆さまのご協力をお待ちしております。

## 離職時の届出制度とは？

保健師、助産師、看護師、准看護師の免許を持ちながら看護師等の仕事に就いていない方に、氏名や連絡先などを都道府県ナースセンターに届け出ていただく制度です。（「看護師等の人材確保の促進に関する法律」による）離職時などに届け出た看護職の方へ都道府県ナースセンターが離職等の状況に合わせた支援を行うことで、看護職としての切れ目のないキャリアを積むことができるよう支援を行います。

## 調査概要

調査期間：2025年1月15日～2月21日

調査方法：WEBアンケート

設問数：18問

回答時間：5分程度

実施者：公益社団法人日本看護協会



ご回答はこちらから

<https://www.nurse.or.jp/research202501.html>



## 看護職の離職時等届出制度の認知度、利用状況の実態把握 設問

### 【看護職の離職時等届出制度について】

看護職（保健師、助産師、看護師、准看護師）の免許保持者は、離職時などに都道府県ナースセンターへ自身の情報を届け出ることが、2015年10月1日より努力義務化されています（**離職時等の届出制度**）。

ナースセンターの web サイト「とどけるん」で、個人が届け出るだけでなく、離職時の勤務先が離職者の同意を得て、届出を代行することもできます。

この制度による届出情報をもとに、都道府県ナースセンターが離職中の看護職の方とつながりを保ち、それぞれの状況に応じて、復職に向けた研修、無料の職業紹介、相談員によるアドバイスや情報提供等の支援を行っています。

問1 あなたの年齢を教えてください。	
1. 20代未満	2. 20代
3. 30代	4. 40代
5. 50代	6. 60代
7. 70代以上	

問2 あなたのお住いの都道府県を教えてください。		
1. 北海道	2. 青森県	3. 岩手県
4. 宮城県	5. 秋田県	6. 山形県
7. 福島県	8. 茨城県	9. 栃木県
10. 群馬県	11. 埼玉県	12. 千葉県
13. 東京都	14. 神奈川県	15. 新潟県
16. 富山県	17. 石川県	18. 福井県
19. 山梨県	20. 長野県	21. 岐阜県
22. 静岡県	23. 愛知県	24. 三重県
25. 滋賀県	26. 京都府	27. 大阪府
28. 兵庫県	29. 奈良県	30. 和歌山県
31. 鳥取県	32. 島根県	33. 岡山県
34. 広島県	35. 山口県	36. 徳島県
37. 香川県	38. 愛媛県	39. 高知県
40. 福岡県	41. 佐賀県	42. 長崎県
43. 熊本県	44. 大分県	45. 宮崎県
46. 鹿児島県	47. 沖縄県	

問3 現在の勤務先を教えてください（複数ある場合には主たる勤務先）		
1. 病院(500床以上)	2. 病院(499～200床)	3. 病院(199～20床)
4. 診療所(有床)	5. 診療所(無床)	6. 助産所
7. 介護老人保健施設	8. 介護医療院(I型)	9. 介護医療院(II型)
10. 介護老人福祉施設(特養)	11. ケアハウス・グループホーム	12. 7から11以外の入所施

	有料老人ホーム	設
13. デイサービス・デイケアセンター	14. 訪問看護ステーション	15. 13, 14 以外の通所・訪問サービス事業所
16. 地域包括支援センター	17. 在宅介護支援センター	18. 都道府県・保健所
19. 市区町村・保健センター	20. 保育所・幼稚園	21. 会社・事業所
22. 健診センター・労働衛生機関	23. 小学校・中学校・高等学校(養護教諭)	24. 大学・養成所等
25. その他(自由記述)		

問 4 あなたは普段、看護に関する情報収集をするためにどのような媒体を使用しますか。(※複数回答可)

1. 出版物(書籍・雑誌)	2. インターネット・SNS
3. 看護協会やナースセンターの web サイト等	4. 厚生労働省の web サイト等
5. 研修や学会	6. その他(自由記述)

問 5 あなたは離職時等の届出制度をご存じですか。

1. 詳しく(届出方法など)知っている	2. ある程度知っている
3. 聞いたことはあるが、内容は知らない	4. まったく知らない

問 6 あなたは離職時等の届出が努力義務であることをご存じですか。

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

問 7 あなたは離職時等の届出制度をどこで知りましたか。(※複数回答可)

1. 勤務先で	2. 家族や友人・知人から
3. 看護協会やナースセンターの web サイト等で	4. 厚生労働省の web サイト等で
5. 看護学校で	6. その他(自由記述)

問 8 あなたは看護職として従事していた勤務先を離職した経験がありますか。

1. ある	2. ない ⇒問 17、18 へ
-------	------------------

問 9 離職時の勤務先を教えてください(複数ある場合には直近の主たる勤務先)

1. 病院(500 床以上)	2. 病院(499~200 床)	3. 病院(199~20 床)
4. 診療所(有床)	5. 診療所(無床)	6. 助産所
7. 介護老人保健施設	8. 介護医療院(I 型)	9. 介護医療院(II 型)
10. 介護老人福祉施設(特養)	11. ケアハウス・グループホーム・有料老人ホーム	12. 7 から 11 以外の入所施設
13. デイサービス・デイケアセンター	14. 訪問看護ステーション	15. 13, 14 以外の通所・訪問サービス事業所
16. 地域包括支援センター	17. 在宅介護支援センター	18. 都道府県・保健所
19. 市区町村・保健センター	20. 保育所・幼稚園	21. 会社・事業所
22. 健診センター・労働衛生機関	23. 小学校・中学校・高等学校(養護教諭)	24. 大学・養成所等
25. その他(自由記述)		

問 10 あなたは直近の離職時に、離職時等の届出をしましたか。

※ご自身で届け出た他、離職時に勤務先が届出を代行した場合も「1. ある」を選択してください。

1. ある ⇒問 11、12、13、14、15、17、18 へ	2. ない ⇒問 16、17、18 へ
---------------------------------	---------------------

問 11 あなたはどのような方法で離職時等の届出を行いましたか。(※複数回答可)
1. 自分でナースセンターの web サイト「とどけるん」を通じて届出
2. 自分で最寄りのナースセンターに届出票を提出
3. 勤務先が代行して届出

問 12 離職時等の届出をした理由について、あてはまるものに○をつけてください。
1. 努力義務だと知っていたから
2. 離職時に勤務先から届出をすすめられたから
3. 離職時に勤務先が届出を代行したから
4. 自分にとってメリットや必要性を感じたから
5. その他（自由記述）

問 13 離職時等の届出をした後に役に立ったサービスについて、あてはまるものに○をつけてください。(※複数回答可)
1. お仕事探しサイト「e ナースセンター」の登録案内
2. ナースセンターでの相談・研修・イベントの案内
3. ハローワークでの巡回相談・相談会の案内
4. 求人情報の提供
5. 役に立ったサービスはない
6. その他（自由記述）

問 14 「とどけるん」を利用してみて、その満足度について教えてください。	
1. 満足	2. 概ね満足
3. 普通	4. やや不満
5. 不満	6. とどけるんは利用していない

問 15 離職時等の届出を利用して感じた改善してほしい点について、あてはまるものに○をつけてください。あわせて差し支えない範囲で具体的にその内容を記載してください。(※複数回答可)
1. 届出方法 (具体的 に： )
2. 操作性（画面の見やすさ、入力のしやすさ、指示の分かりやすさ等） (具体的 に： )
3. 入力項目 (具体的 に： )
4. セキュリティ (具体的 に： )
5. その他 (具体的 に： )

問 16 あなたが離職時等の届出をしなかった理由について、あてはまるものに○をつけてください。
---

(※複数回答可)

1. 離職時にはまだ制度がなかったから
2. 離職時に制度の存在を知らなかったから
3. 努力義務だから（義務ではないから）
4. 制度は知っていたが届出の手続きが分からなかったから
5. 届出のタイミングが分からなかったから
6. 届出の手続きが面倒だから
7. 自分にとってのメリットや必要性を感じなかったから
8. 個人情報や離職したことを第三者に知られたいくなかったから
9. 次の就職先が決まっていたから
10. 看護職以外の仕事に就業する、もしくは就業の予定がなかったから
11. その他（自由記述）

問 17 あなたが離職時等の届出を実施するために必要と考えられる改善について、あてはまるものに○をつけてください。(※複数回答可)

1. 届出を義務化する
2. 届出に対するインセンティブ（研修情報が入手できる等）を設ける
3. 届出情報利用やメリットを明確化する
4. 届出手続きを簡素化する
5. Web サイト「とどけるん」の操作マニュアル（ガイドや説明）を改善する
6. 「とどけるん」以外の Web サイトでも届出ができるようにする
7. 個人情報の保護への更なる配慮をする
8. 効果的な周知・広報をする
9. 改善されても届出するつもりはない
10. その他（自由記述）

問 18 その他、離職時等届出制度に関する意見・要望がありましたらご自由に記入してください。